

社会学系コンソーシアム・日本学術会議 第8回シンポジウム

日本社会のグランドデザイン 将来像と制度改革

2016年1月30日(土) 13:30-16:30 会場: 日本学術会議講堂
(東京メトロ千代田線「乃木坂駅」5番出口徒歩1分)

21世紀をむかえた世界は、社会の大きな転換期にさしかかっています。グローバル化、少子高齢化、あるいは地球温暖化などのいくつかの長期的な趨勢は、早急に解決を必要とする社会問題を引き起こしています。格差の拡大、福祉制度の機能不全、排外主義の台頭、エネルギー政策への懸念など、枚挙にいとまがありません。このシンポジウムでは、社会学・社会福祉学の立場から日本社会が直面する課題を確認し、将来に向けた大きな見取り図とそれに伴う制度作りについて議論します。

開会挨拶

遠藤 薫(社会学系コンソーシアム理事長・日本学術会議社会学委員会委員長
・学習院大学教授)

報告

「ケアの社会化をめぐる論点」

船橋 恵子 (日本家族社会学会・日本学術会議連携委員・静岡大学名誉教授)

「社会福祉の一般化と社会へのインパクト」

畑本裕介 (日本福祉学会・山梨県立大学准教授)

「『地方消滅』言説下における、脱『選択と集中』型まちづくり形成過程に関する比較研究」

矢部拓也 (地域社会学会・徳島大学准教授)

「低炭素社会への転換を——パリ協定合意を受けて」

長谷川公一 (環境社会学会・日本学術会議特任連携会員・東北大学大学院教授)

討論者

新 雅史 (日本社会学会・学習院大学非常勤講師)

菊池 英明 (福祉社会学会・武蔵大学教授)

オーガナイザー・司会

山田信行 (社会学系コンソーシアム理事、駒澤大学教授)

宮本みち子 (社会学系コンソーシアム理事、日本学術会議連携会員、放送大学教授)

閉会挨拶

野宮大志郎(日本学術会議フューチャー・ソシオロジー分科会委員長・中央大学教授)

主催: 社会学系コンソーシアム

日本学術会議社会学委員会フューチャー・ソシオロジー分科会

お問い合わせ: 社会学系コンソーシアム事務局

soconsortium@soconso.com

参加費・事前申し込みは不要です